

2017年10月31日

日本機械学会関東支部栃木ブロック行事

栃木ブロック研究交流会 実施報告書

1. 実施日

2017年10月28日(土) 12:30～17:00

2. 会場

帝京大学宇都宮キャンパス地域経済学科棟(〒320-8551 宇都宮市豊郷台 1-1)

3. 参加者数

71名

4. 内容

栃木県内の機械工学系大学・高専(宇都宮大学、足利工業大学、小山工業高専、帝京大学)の学生を主体とした研究交流を目的として、ポスター形式での研究発表会と特別講演会を実施した。受付を12:30から、ポスター形式での研究発表を前半13:00～14:00、後半14:00～15:00、特別講演会を15:00～16:00、懇親会を16:00～17:00のスケジュールで実施した。

研究発表は23件(宇都宮大5件、足利工大5件、小山工業高専6件、帝京大7件)で、多数の参加者のもと活発な討論が行われた。

特別講演会は、帝京大学客員教授 医学博士 本澤養樹氏を講師に迎え、「法医学教室で死体から学んだこと」と題し、交通事故の人的被害の解明から自動車の衝突安全に生かしていく研究体験をご講演いただいた。

その後懇親会を行い、ポスター発表から参加された関東支部長や特別講演の講師も出席され、参加者同士の交流をさらに深めることができた。



ポスター発表



特別講演会

報告者: 帝京大学 篠竹昭彦